

ひろげる つながる ろうけんの輪

# ろうけん

ROKEN Kagoshima

鹿児島



No**112**

令和5年(2023)  
7月1日発行



「黄昏の刻」 祝迫正豊

公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会

# INDEX

時代を読む	1
前原 くるみ	
第27回鹿児島県老人保健施設大会	2~3
参加希望介護施設等の募集について	4~5
研く 究める	6~11
令和4年度 研修会	12~15
協会だより	15
ぶらぶらが素敵 かがしま <sup>12</sup>	16~17
こほれおちたものもの <sup>36</sup>	18
三角 みづ紀	
ふるさとフォーカス	19
ろうけん広場	20
かがしまの食卓 夏編	21
介護用品あれこれ	22~23
あなたの地域の介護老人保健施設	24~28
伊佐・始良地区	
日置・川薩・北薩地区	
鹿児島地区	
曾於・肝属地区	
南薩地区・熊毛・大島地区	
表紙絵	
「黄昏の刻」	29
祝迫 正豊	
編集後記	29

## ろうけんとは

「ろうけん」とは、介護保険が適用される介護老人保健施設の愛称です。県内の76カ所の施設が公益社団法人鹿児島県老人保健施設協会を組織しています。この冊子「ろうけん鹿児島」は、同協会の広報誌です。



## マンパワー発掘の可能性

鹿児島県老人保健施設協会理事

前原 くるみ



これまでもこれからも、経営者と現場スタッフの悩ましい問題、それは慢性的な「マンパワー不足」ではないでしょうか。

鹿児島県の公表によると、2020年10月時点の国勢調査において、鹿児島県人口156万3千人の内、高齢者（65歳以上）は52万3千人であり、高齢率は33・5%でした。つまり、わが県は3人に1人が高齢者であり、全国平均の29・0%からすると全国14位と高齢者が比較的多く、その上更に今後は少子高齢化が進み…と、先行きはあまり明るくないイメージばかり持つてしまいます。

しかし、この国勢調査では他に種々様々な角度からの統計も公表され、ほとんどは「へー」と

思うものが多いのですが、その中に、特に私にとっては「おお！」と、とても気持ちが良いものがある。データがありました、それは「労働力人口」です。簡単に言えば「15歳以上の働ける人の数」です。実は、鹿児島県での「労働力人口」は、2015年から2020年の間で81万8千人↓80万1千人と1万7千人少なくなっているものの、産業大分類の中での「医療福祉業」の就業割合は17・2%↓18・7%と1・4%上昇し、さらに小売業や製造業などの他産業を抑えて、なんと最も高い就業率となっていたのです。

さて、少々話は変わりますが、ここで実際にあった、ある出来事をご紹介します。それは、昨

年末のとても寒い日に行政の福祉課から私に直接電話があり、「若い男性が車中泊をされていて保護したが食事も摂れておらず、所持金もなく、暖も帰る家もないんですが、なんとかありませんか？」と。私としては専門外であるにしろ、とにもかくにも社宅と食事を準備し、とりあえず3ヶ月ほどはそこに住みながら、仕事を探して追い追い自立してもらえれば…「ん、仕事!？」ということ、すかさずその方を勧誘すべく介護職のすばらしさ、ニーズ、将来性を話したところ、モチベーションが上がリ、私どもの施設に介護スタッフとして就職され、大変助けられました。

ここでもう一つ、先ほどの統計から読み取れるデータがあります。実は、前述した「労働力人口が80万1千人」については続きがあり、その中には「失業者が3万2千人」が含まれ、さらに対義である「非労働力人口（専業主婦、15歳以上の学生、定年退職者、ニートなど）は53万6千人」いて、合計すれば「56万8千人」も働ける可能性のある方がいるのです。

とは言うものの、その中から「労働力人口」に転じれる方は正直多くは無いです。ところが、それでもなお鹿児島県にはまだ、かなりの就労可能性が眠っているのではと、先行きがパッと明るくなり、俄然ファイトが湧いてきました。

私たちの業界では同業者間での入職退職が繰り返されるケースが多く、経営者も現場スタッフもその都度で一喜一憂しますが、根本的に大切なことは医療福祉業の「労働力人口」への新たな人口流入策ではないでしょうか。

2040年には介護職員が全国で69万人不足すると言われて

います。「不就労者」をいかに「医療福祉のマンパワー」に転化していくか、今一度、新たな視点を以て周りを見渡せば、意外なところにも活路を見出せるかもしれません。



ハイブリッド方式で開かれた第27回鹿児島県老人保健施設大会＝鹿児島市の県医師会館

## 第27回鹿児島県老人保健施設大会

# 「あたらしいカタチ～笑顔ある未来へ～」

## 発表通して課題を共有

第27回鹿児島県老人保健施設大会が2月14、15の両日、鹿児島市の鹿児島県医師会館で開催されました。テーマは「あたらしいカタチ～笑顔ある未来へ」。コロナ禍の影響で、前回大会と同様、会場入場を制限し、会員施設に同時配信するハイブリッド方式を採用して、会は進められました。

県老人保健施設協会会長で、日本医師会常任理事の今村英仁氏が東京からオンラインで開会の挨拶をしました。「コロナ禍の収束が見えてはきましたが、高齢者を預かる老健としてはまだまだ気が抜けません。利用者を守りながら、活動を続けていかなければなりません。明るい未来になるよう頑張っていきたいと思います」と述べました。

演題発表では「リハビリ・認知症」「医療・介護」など4つのセッションで21人が発表。日ごろの体験や取り組みなど、課題などを披露し、会場だけでなくオンライン参加の会員施設がチャットで質疑応答を行いました。

特に、介護現場で働く外国人の技能実習生と技能実習生を受け入れている施設職員の報告が注目を集めました。

介護老人保健施設きりしま（霧



「日本の介護に触れて」と題して話した介護老人保健施設「きりしま」の介護職員ヴォン・ティ・ラン・フォンさん

島市)で介護職員として働くベトナム人のヴォン・ティ・ラン・フォンさんは、終末期の祖母の世話をしていた経験からもつと介護に向き合いたいとして日本で介護の仕事を選んだと説明。職場で必要な日本語を磨きながら、「介護福祉士の資格を取るため知識を身につけたい」と決意を語りました。

2人を受け入れた取り組みを紹介。指導方法について言及するとともに、職員の意識の変化があったことを報告しました。坂口さんは「生懸命な実習生と接し、職員の意識向上がみられた」とし、「実習生を受け入れは意義があり、さらなる育成に全職員協力したい」と話しました。

◇大会実行委員(敬称略)  
宮園賢治(希望の里・副施設長)、亀石明人(みなみかせ・介護主任)、久見瀬佑樹(グランベリテひわき・支援相談員)、小園昭仁(湯の浦ナーシングホーム・支援相談員)、今村美由紀(ナーシングホーム田上苑・支援相談員)、島村奉章(城山老健施設・介護主任)、白澤良彦(かわなべ寿光苑・支援相談員)、永留義己(サザンケアセンター・理学療法士)



発表者の皆さんへは大会実行委員の方から発表記念としてクリップホルダーが手渡されました

# 令和5年度鹿児島県介護施設等外国人留学生支援事業

鹿児島県くらし保健福祉部社会福祉課

## 参加希望介護施設等の募集について

令和2年度から実施している県の補助事業について、令和5年度も引き続き実施することとなりましたので、お知らせします。

### はじめに

介護人材は、団塊の世代が後期高齢者となる2025年度末までに、県内では約2千人が不足すると推計されています。こうした中、介護福祉士の確保を図るため、県では、県内介護施設での就労を希望する留学生を支援する県内介護施設等に対して、学費等の給付に係る経費の一部を助成する「介護施設等外国人留学生支援事業」を実施します。

### 事業概要

#### (1) マッチング支援

○県では、介護福祉士資格を取得し県内介護施設で就労を希望する外国人及び介護福祉士

を旨とする留学生に対する学費・居住費等の支援を希望する介護施設等を募集します。

○留学生に対する支援を希望する介護施設等は、留学生が日本語、介護技術を学ぶ県内日本語学校、介護福祉士養成施設をあらかじめ選定し、それらの学校と「留学生受入チーム」を作った上で、県に事業参加の申込みを行います。

○留学生受入チームと、応募した外国人による面接により、マッチングを行います。

#### (2) 学費及び居住費の支援

○県は、留学生を受け入れる県内介護施設等が留学生に支援をした県内日本語学校の学費とその間の居住費、及び介護福祉士養成施設に在籍する間の居住費について、受入施設が負担した費用の1/2の額の

補助金を交付します。(介護福祉士養成施設の学費については、県社会福祉協議会が貸付を行う介護福祉士修学資金を利用できますが、受入介護施設は借入の連帯保証人になります)なお、留学生が、①進級・進学を取りやめる場合、②退学・休学をする場合、③失踪した場合、返金又は補助金の交付を受けていない学費・居住費は、本人の疾病等やむを得ない場合を除き、留学生に対し返還を求めることとなります。

入居者生活介護のいずれかになります。

○1施設あたり2名以上の外国人を受け入れることが条件となります。また、留学生が在学中は、原則、受入介護施設等でアルバイト(賃金は日本人と同等)を行うこととなります。

### 募集期間

令和5年4月19日(水曜日)から7月31日(月曜日)

### 募集施設数

5施設程度(外国人は10名程度募集)

※留学生の応募数やマッチングの結果により、応募いただいた場合でも調整等させていただく場合があります。

### 募集対象施設

○県内に所在する、介護保険法に規定する介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設入居者生活介護(外部利用型は除く)、認知症対応型



### 応募方法

○以下書類を県社会福祉課へ郵送または持参の上、提出してください。

(1) 応募申込書（施設等名、連絡担当者・連絡先等を記載いただくもの）

(2) PR資料（施設等の概要、留学生が学ぶ日本語学校や介護福祉士養成施設の概要、留学生が就職した場合の給与その他の待遇等を明記した資料）

○(1)、(2)の書類は、いずれも指定の様式があり、県ホームページに掲載しております。

(ホーム) ↓ 健康・福祉 ↓ 社会福祉 ↓ 社会福祉関連情報 ↓ 「令和5年度介護施設等外国人留学生支援事業」に参加を希望する介護施設等・留学生を募集します

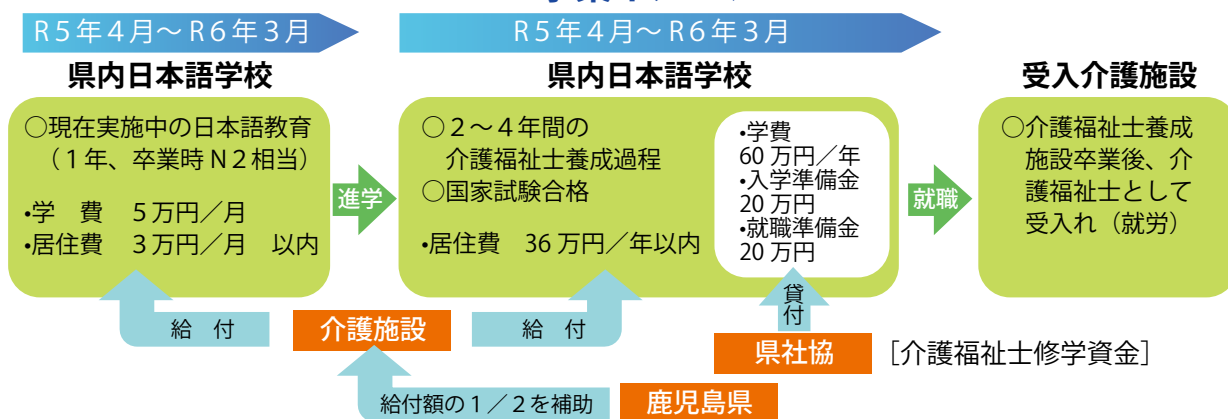
○(1)、(2)の作成・提出にあたっては、県内日本語学校、介護福祉士養成施設と直接連絡を取っていただき、留学生が日本語、介護技術を学ぶ学校をあらかじめ選定し、対象の学校から、(2)の資料を作成するのに必要な情報を入手してください。

○県内日本語学校及び介護福祉士養成施設へは、応募を希望される介護施設等から連絡がある旨お知らせしています。また、留学生が学ぶ学校の選定の参考となる資料について、指定の様式と併せて、事業の対象となる施設あてに送付しています。

### 問い合わせ先

御不明な点等ありましたら、県社会福祉課地域福祉支援係  
電話／099-286-2841  
までお問い合わせください。

### 事業イメージ



# 研 究 究 める

よりよい介護を自さし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

## 頑張る介護から頑張り過ぎない介護へ 在宅生活を長く無理なく続けるために

介護老人保健施設 鴨池慈風苑 (鹿児島市)

〈発表者〉  
〈共同発表者〉

作業療法士 原口 宣裕  
作業療法士 平田 将康

### 【はじめに】

近年、夫婦のみの高齢者世帯が増加しており、老老介護が問題になっている。長年にわたり在宅介護を続け、施設入所や福祉用具機器「介護リフトつるペー」（以下リフト）の使用には抵抗があった家族と関わる機会を得た。そこで今回、夫婦ともに頑張りすぎない介護の必要性を認識してもらい負担の少ない在宅生活へのサポートがおこなえたため報告する。

### 【症例紹介】

70歳代男性で要介護5。主病名は脳出血後遺症。重度の左片麻痺、高次脳機能障害が残存している。誤嚥性肺炎と転倒骨折を繰り返し徐々に機能低下がみられ、入所時基本動作・ADLは共に全介助。

入所時の目標は在宅復帰となっていたが、奥様による独力の移乗



当苑居室環境に設置したリフト

### 【経過】

入所前在宅ケアマネージャーに奥様の認識について確認すると、立ち上がりや移乗・トイレ動作が出来ないと家での生活は難しいとの考えがあった。

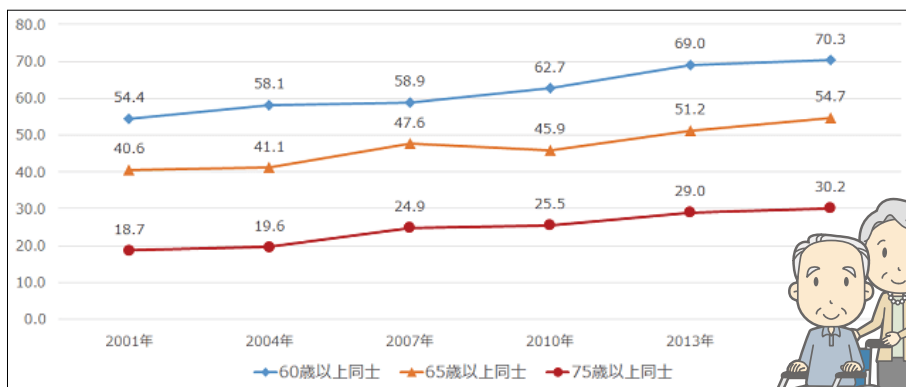
入所直後の奥様との面談時も奥

は難しいのではないかとスタッフ間での共通認識であった。そこで、頑張りすぎない介護計画を提案し奥様の心情の変化に添って実施した。

様自身が頑張れば入所前の自宅生活に戻れるのではないかとの気持ちも伺えた。リフト使用を提案するも「本人を甘やかすから」とあまり良い反応では無かった。

入所後立ち上がり訓練を中心のリハビリを行うも介助量の減少には至らなかった。そこで入所から2カ月経った頃、奥様に移乗介助を行ってもらい以前より介助量が大きいことを認識してもらい、改めてリフト使用について説明を行うもやはり否定的な意見が聞かれた。

その間、「頑張る介護」と「頑張り過ぎない介護」について繰り返し話し合った。頑張る介護のリフトは今までのようになんとか歩いて、段差も越えられるようになるなど残存能力の向上。デメリツトとしては奥様の腰痛悪化や無理な介護による転倒。頑張りすぎな



老老介護グラフ

出典 公益財団法人長寿科学振興財団より





い介護では立位での移乗介助は出来なくなるが、最大の目標である安心安全な生活を長く送るためにリフトを使いながら生活を送ったかどうか提案した。

その結果、少しずつではあるがリフト使用に対し前向きなコメントが聞かれるようになり、現状を受け入れながら在宅復帰に向けて柔軟に考えリフト使用に対しても一定の理解を示されるようになった。

在宅ケアマネージャーに相談後在宅で使用予定のリフトのデモ機をレンタルし当苑居室に設置する。初めてリフトを見た奥様は少しとまどいもみせつつ、リフト使用による移乗練習を積極的に受けていた。

退所1カ月前〜2週間の間で、繰り返しリフト体験や助言を行



ご本人と奥様、福祉用具業者との練習風景

い、リフト使用での在宅生活がだいぶイメージ出来るようになっていると感じた。

同時にリフト動作以外で奥様が不安に思っている事に対し、介護スタッフや管理栄養士、系列病院STなど各専門職からのアドバイスも行った。

入所4カ月後、ご自宅内のベッドサイドにリフト、縁側に昇降リフトを設置し在宅復帰された。

**【結論】**

福祉用具を使った介護指導や多職種も含めた在宅復帰後の助言を行った。在宅生活が具体的にイメージできるようなアプローチを行ったことで介助者の頑張り過ぎない



自宅ベッドに設置したリフト

介護への抵抗がなくなり、より安心な在宅復帰が可能となった。

**【まとめ】**

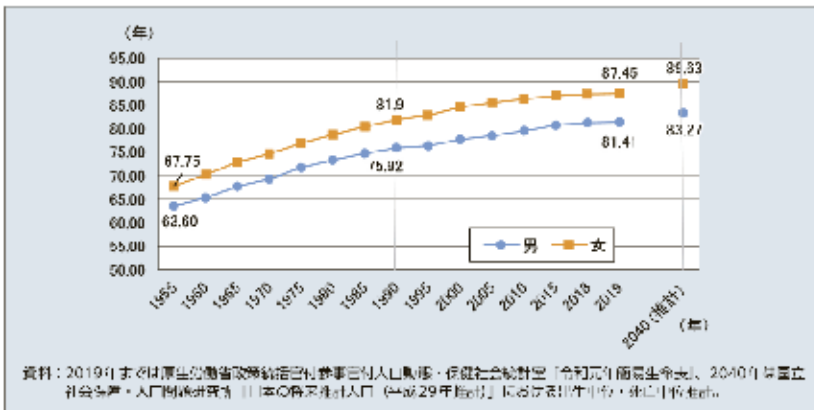
今回経験した症例を通して老老介護の実態を再認識した。男女ともに平均寿命が伸びた事により、統計上も老老介護世帯数も年々増加し後期高齢者の約3割が老老介護を行っているという実態もある。

要介護者ばかりに目を向けるのではなく、主介護者に対して在宅生活での不安な点の聞き取りや入所中に実際の介護体験を行ってもらう等の経験を重ねていただき、在宅生活の選択肢を増やしてあげる事が大切だと感じた。頑張ることが目的の介護から、



縁側に設置した昇降機

**平均寿命の推移**



在宅生活を安全に長く続けるための介護(頑張り過ぎない介護)への理解を深め、入所前・中・後を通して、多職種で本人及び介護者双方をサポートし在宅生活を行えるよう今後も支援していきたい。

# 研く究める

よりよい介護を自さし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

## 自宅で楽しく継続して運動するためには

介護老人保健施設 おさしお（鹿屋市） 〈発表者〉 理学療法士 新保 常代

### 【はじめに】

当施設の通所リハビリテーションは、看護師・介護士（以下、看介職員）も含む職員全体のリハビリテーション（以下、リハビリ）への意識が高い。1日の利用の中で、看介職員が15分程度、リハビリ職員が準備したりリハビリメニューを利用者に提供する時間がある。それによって、利用者のリハビリへの「意識」や「やる気」なども、非常に高いのが特徴である。

様々な取り組みの中で、自宅で行う運動の指導を行ってきたが、定着しているようには感じられず、継続して自宅で運動してもらおうことの難しさを痛感した。そこで、通所職員全体で話し合いを行い、自宅で楽しく継続して運動できる方法を検討し、一部の利用者に変化を認めため報告する。

### 【取り組み】

#### I. 比較時期

令和3年9月（検討前）と令和4年9月（検討後）

#### II. 対象者

要支援1の利用者2名、要支援2の利用者12名、合計14名

#### III. 提供内容

検討前は運動プリントを14種類準備。利用者の疾患ごとに必要な運動を選定し提供をしていたが、運動内容の見直しも不定期で、数カ月内容が変わらないこともあった。

検討後は運動プリントを30種類以上準備。1週間に1種類の運動プリントを提供、1週間毎に内容の変更を行った。利用者によって、脳トレのプリントを週1〜2枚追加した。

#### IV. 記録方法

検討前は1か月分の記録用紙を

運動プリントと別で用意した。

検討後は1週間分の記録をする部分を、運動プリントの中に付け加えた。

#### V. フォイードバック方法

検討前は利用者が利用毎に運動ファイルを持参し、リハビリ職員が実施内容に関わらず、コメントを書き、利用者へ返却していたが、運動方法や注意点等の確認や指導は毎回出来ていなかった。

検討後は、ファイル持参やチェック方法は変更なし。看介職員が行うリハビリの際に、自宅で行う運動を利用毎に一緒に行い、運動方法や注意点などの指導を行うようにした。更に運動や脳トレのプリントを実施してきた利用者には、スタンプを押し、20個貯まれば、5分間のマッサージ券を発行し、ゲーム感覚で取り組めるようにした。

### 【結果】

運動プリントやマッサージをきっかけで、利用者とのコミュニケーション機会が増え、自宅での運動の様子が分かり、どの程度理解して運動出来ているのかが明確になった。また職員全体で取り組むことで、利用者一人ひとりの目標に向けての取り組みが、より分かりやすくなり意思統一を更に図りやすくなった。

検討前は継続して取り組んでいた利用者は3割しか居なかったが、検討後は8割の利用者が取り組むことが出来ている。一度も自宅での運動を実施して来なかった利用者はマッサージしてもらえないならと取り組むようになった。運動がワンパターンとなり途中から運動をやめていた利用者は、毎週運動内容が変わり、職員と一緒に運動をすることで意欲が上がり

再び取り組むようになった。  
 しかし、2割の利用者はファイルすら開いていないという結果となった。

**【考察】**

今回の取り組みを通して、リハビリ職員のみではなく看介職員も含めた全体で取り組むことで、皆で身体を動かさず雰囲気作りが出来、それにより利用者の運動への意識や意欲が高まったと思われる。課題として、ファイルを開いていない利用者については、運動内容や開かない理由など再検討する必要がある。

運動をする習慣がついている利用者には、それほど難しいことではないが、運動習慣がもともとない利用者にとっては、運動を自ら行うことは難しいことである。きっかけは、「マッサージをしてほしい」「職員が毎回運動の声掛けをしてくれる」「運動プリントを準備してくれる」「みんながやっている」から始まったかもしれない。しかし、これが日課となり楽しく継続することで、活動性の確保や拡大を図ることが出来、生活目標の達成に繋がるのではないかと考

える。  
 今後も、職種の垣根を越え皆で協力をし、職員も様々な工夫をしながら楽しく取り組んでいきたい。



# 研 究 究 め る

よりよい介護を自さし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

## 技能実習生からの報告 ～日本の介護に触れて～

介護老人保健施設 老健きりしま（霧島市）

〈発表者〉 技能実習生 VUONG THI LAN HUONG

### 【はじめに】

私の名前は「ラン・フォン」といい、日本では香とよばれていますが、ベトナムでは教育大学卒業後、生物学の修士号を取得するために勉強して、その後は高校で生物学の教師になりました。日本に来る前にCEOベトナムセンターで1年間日本語を勉強し、JLPT（日本語能力試験）のN3に合格しました。



### 【日本に行き、介護の仕事を選んだ理由】

日本に行こうと思った理由は、子供の頃からテレビや新聞で日本の桜や富士山、たくさん美しい景色を見て、日本に行くことが夢でした。また、日本人は教育、チームワーク、勤勉さを大切にしているイメージもあり、日本で新しい挑戦してみたいと思い、日本にきました。介護を選んだ理由は、私はベトナムで終末期の祖母の世話をしていました。この経験で介護は心のこもった仕事であり、とてもやりがいを感じました。また、先生としての生徒への指導や人の世話が好きな私の性格もあり、祖母のようなお年寄りの世話をしてみたいと思いました。また、介護の仕事が続ければ日本語を使う機会が多くなり、日本語が上がると思えました。帰国後は蓄積され

た介護の経験を活かし、人の世話をするスキルを身につけることができ、ベトナムでの介護専門職の発展に貢献できると思えました。



### 【介護の仕事をして学んだこと、感じたこと】

日本に来て最初の年、私は病院で働いていました。ここでは、排泄の介助や身体の衛生の介助、移動や移乗の介助などの介護の基礎的な部分を学びました。入所者様の移動介助における介助手順や注意点、介助者や患者様の負担を軽減するためのテコの原理や、ボディメカニクスの原理などの活用方法も学びました。病院で難しいと感じたことは、コミュニケーションです。私のいた病棟の患者様のほとんどが口頭でのコミュニケーションをとることができませんでした。そのため、ジェスチャーや目線などの非言語的コミュニケーションを活用していました。また、介護を始めた頃の私はわからない言葉が多く、日本語をうまく話せませんでした。簡単な文章は書けるけど話



せない、多分できるけど自信がないから会話が始まらない。ですが、高齢者の方々の生活に関わる仕事のため、真剣に勉強し、他の従業員を観察しました。

老健に異動になり、この第一印象はいつでも暖かく迎え入れてくれる、とてもフレンドリーな印象でした。また、仕事の指導も辛抱強く丁寧に教えてくれました。入所者様とのコミュニケーションもは、言語的なコミュニケーションも

積極的に行いました。私は言語的コミュニケーションにおいて聞き手になり入所者様の話を親身に聞くことで、言語能力が低下している入所者様も心を開いてくれることもありました。心を開いた方とは信頼関係を築きやすく、介護をしやすくなるため、生活の質も高まるということを知りました。また、しばらく隣に座っていたり、一緒に散歩をしたりなど、言葉を

交わさずに同じ時間を過ごすなどの沈黙の大切さや、否定的な声かけのデメリットなども学びました。

【日本の介護に触れて感じたこと】  
介護の仕事は「きつい、汚い、給料が安い」などと聞いたこともあり、さすがに実際に働いてみると、元気のなかった利用者様がサービスを利用してどんどん元気になったり、利用者様やその家族に笑顔が増え、感謝された時、「ありがとう」「たすかるよ」と言っていたときにとてもやりがいを感じ、楽しいと思うこともあります。

入所者様は長い人生の中でさまざまな経験をされています。結婚、出産、子育ての喜びや悩み、仕事での失敗や成功、嫁姑問題、離婚、お金の苦労、親の介護や死別、自分の病気や老い…。そんな様々な経験を乗り越えて今に至っているからこそ、小さなことでは動じないおらかさ、言葉にしなくても伝わる思いを感じ取ることができ、そんな人生の大先輩の心に触れること、昔の話を聞くことなどは、他の仕事では決して味わえない大切な学びだと思いました。



【今後の目標】

2年間日本に住み、私は新しい文化を学び、働き、新しい人々に会いました。日本人は非常に規律があり、時間に注意を払い、挨拶も必ず行います。これらはすべて介護職に限らず、どの仕事においても非常に重要なものです。

新しい仕事を覚えただけでなく、日本語能力も向上し、就職して1年で日本語能力試験N2に合格し、現在はN1取得に向けて頑張っています。また、自分の性格に合った仕事だとわかったので、この仕事を続けたいと思っています。今後は介護福祉士の資格も取得するために介護の知識をたくさん学んでいきたいです。

# 令和4年度 研修会

## 令和4年度第1回在宅ケア・支援相談部会

日時：令和5年2月21日（火） 14：00～16：00（質疑応答を含む）

会場：鹿児島県医師会館3階中ホール及びZoomによる配信

参加者：66名（Zoom62名 会場4名）

### テーマ

## 「看取り支援研修」～意思決定支援～

講師：柳田 千草先生（合同会社 Big Smile代表）

### 【アンケート結果】

#### 1. 参加方法

Zoom 17人（100%）

#### 2. 評価

非常に良かった 7人（41%）

良かった 9人（53%）

普通 1人（6%）

#### 4. 理解

よく理解できた 11人（65%）

どちらかといえば理解できた 6人（35%）

#### 5. 今後、改善したほうが良いと思う項目

時間帯 1人（6%）

無回答 16人（94%）

#### 6. 改善してほしい理由

業務時間のため、個人的にはそれ以外の時間がいいです。

#### 7. 次回はどのように研修を希望しますか

- ・チームアプローチの具体的な方法
- ・認知症ケア
- ・多岐にわたり知識の習得が必要と思う職種です 知識の定着のため同等の研修も繰り返し学ぶ機会が重要で、他職種との連携の回り方具体的な実例を通して学びたい
- ・身寄りのない方の受入れ、緊急時など、皆さんがどのように対策し、対応されているのか聞いてみたいです
- ・老健での看取りの事例等
- ・ACP、実際に動いている施設さんの流れや実状
- ・LIFE やR4 の活用方法等
- ・医療介護保険同時改定に向けての最新情報などがあればお聞きしたいです





- 新型コロナ感染症が5類になった以降の面会を含めた家族との関わりなどの事例
- 身寄りがいない、遠方に家族がいる場合の支援、意思決定をどうするかなど
- 認知症をとりまく環境や家族の関りなど
- 看取り以外で生活困窮者に対する支援方法

## 8. 本日の講師や研修内容について、感想をお書きください

- 在宅医療での訪問看護の役割、施設・在宅での看取りへの関わり方、ACP の重要性などとてもよく理解できた。
- 看取りについて、相談員として何をすべきか具体的に資料にもありましたので参考にしたいと思います。
- ありがとうございます。
- 興味を持って参加出来たので良かった。後半の項目について少し説明が早く感じ、もっと家族（遺族）のケアやチームケアなどについて話を聞きたかったです。
- 看取りをするためには、日頃の状況把握、本人・家族の意向、家族間の意見に相違がないか、今後の治療やケアの方針など、準備すべきことがたくさんあることがわかりました。今の業務の中で、これらを時間をかけて実施していくことはなかなか難しいかもしれませんが、取り組んでいくべき課題だと思っています。
- 研修資料以外に実際の支援サービスの映像がある事でより詳しく理解する事が出来ました。「看取りの時に点滴をしない」は、点滴をすることが逆に苦痛を与える原因にもなりうるのだと理解しました。本日の研修誠にありがとうございました。
- 今年度より看取りの件数も増えてきており私どもの施設の今の課題でもある看取りについて再度認識することが出来ました。在宅で支援されている現状や支援されている方の思いなど伝わって、最期のときを支援するためにご家族だけではなく、本人の思いにも寄り添ったケアを行っていきたいと思いました。また、現場では本人のケアで精いっぱいになる事も多く、日々変化していく家族の気持ちのサポートも今後力を入れていきたいと思います。とてもためになる研修をありがとうございました。
- 非常にわかりやすい研修でした。今後当施設でも看取りケアの導入を検討しておりますので、非常に参考になりました。
- 看取りと接する機会が多い訪問看護師から豊富な経験や知識に基づく看取りの考え方や向き合い方、対応方法を学ぶことができ勉強になりました。入所時から ACP について取り組むように考えていきたい。
- 何も聞かれないというのは一番残念だなという事が残りました。
- コロナ感染症で亡くなられた患者様が納体袋に収められた状態でお見送りをしなければならぬことに関して色々と考えさせられた経験を思い出しました。尊厳とは何か、看取るとはどういうことかを改めて考える機会になりました。
- ACP のデメリットで、診療報酬がない、縁起でもないなど、積極的にはじめの言葉を切り出すのは訪問看護師さんでしょうか。死に至ることが辛いのではなく、生きている間の生活の質を上げられるように支援していきたいものです。症状の変化や日頃の状況からの判断なのか、難しい事だと思います。「希望を聞かれない絶望」の言葉が心に残りました。これからも本人、家族や支援者への助言など含め、訪問看護師さんへ相談させていただきたいと思います。ありがとうございました。
- 看護職としても興味深いお話でした。要支援者が担当でほとんど看取り、ターミナルケアなどはないのですが意思決定のポイントを押さえ今後の支援に役立てていきたいと思いました。日頃の会話、コミュニケーションからの現場の声など。
- とても分かりやすく、聞きやすい講義でした。あっという間の 2 時間だったです。ありがとうございました。

## 令和4年度第3回事務長部会

日 時：令和5年3月22日（水）14：30～16：30（質疑応答を含む）

会 場：鹿児島県医師会館3階中ホール及びZoom等による配信

### テーマ

## 「介護現場におけるICT(電子カルテ)導入について ～導入までの流れから導入の必要性について～」

講 師：丸山 幹生 先生（アンダンテ伊集院 事務長）

「Web や SNS、ICT・・・、日常社会のありとあらゆるところに普及浸透しています。同じように介護サービスの現場でもその恩恵を受けています。その中で「介護記録の電子化」に着目してみると会員施設の中でも考え方や運用状況がさまざまである様でした。そもそも、紙媒体への記録を否定するものではないのですが、「記録の電子化」には興味をそそられます。

本部会では、介護記録の電子化のメリット、デメリット、導入の場合の手順などを学ぶ機会を設け、その講師には、同じ会員施設ですでに記録の電子化を手掛け、一定の成果を上げていらっしゃる施設様の中から、アンダンテ伊集院の丸山事務長にご相談し、介護現場における ICT の導入についてお話していただきました。

講演を受けてアンダンテ伊集院での成功には・・・

- ・事務長自らが興味関心を持ち、またICT関連に精通している
  - ・徹底的にシステムのベンダーさんと運用を築いたこと
  - ・部署ごとにキーマンを養成したこと
  - ・運用環境（操作端末の台数）の整備ができたこと
  - ・「あれ、紙カルテより便利じゃない？」と実感する機会があったこと
- 等があったようでした。

会場では、ご講演終了後に、数事業所職員及び同席していたベンダーさんと自然と輪ができて問題点や修正点を話し合う場が出来ました。Zoom や YouTube を使用した交流会もメリットがありますが、このような光景を目の当たりにすると現地でお聞きする大切さを知れました。さて、余談ではございましたが以下アンケート掲載いたします。

### 【視聴方法】

会場6名、Zoom44名、YouTube再生回数81回（令和5年4月25日現在）

### 【評価】

良かった 5名  
普通 1名

### 【理解】

よく理解できた 3名  
どちらかといえば理解できた 2名  
普通 1名



### 【本日の講師や、研修の内容について、感想をお書きください】

- 施設で現在取り組んではいるが、ペーパーレスにならない部分があり検討中でした。今回の研修で取り組んでいたことは参考になりました。
- 導入するコツについての説明が大変参考になりました。研修を受けながら、リハビリマネジメント加算や科学的介護加算の導入時、ボトムアップで動いたため大変時間を要したことを思い出し、なぜそれほど労力を要したのかについての分析にもつなげることが出来ました。ありがとうございました。
- 当法人も「寿」システムを活用しているが、使いこなしていないと感じた。研修内容は部署間で共有し、システムを活用しようと思います。貴重な研修ありがとうございました。参考にさせていただきます。
- アンダンテ伊集院 丸山事務長ありがとうございました。勉強会でもありましたが、職員への説明、主担当者の選任等 SE の協力を得ながらスケジュールを立て進めていく必要があることが理解できました。また、PC 購入にあたっては経営者への理解を得ながら台数を必要な分揃えていく取組も勉強になりました。

司会進行：ありあけ苑 安崎  
 会場運営：指宿温泉菜の花苑 有馬  
 会場運営：アメニティ国分 藏元

## 協会だより

令和5年5月～

- **令和5年度第1回九州ブロック代表者会**  
 開催日：令和5年5月8日(月)17:30～  
 場 所：オリエンタルホテル福岡(ハイブリッド方式)  
 議 題：大会支援金の在り方について等
- **令和5年度第1回理事会**  
 開催日：令和5年6月5日(月)  
 場 所：医師会 3階小会議室及び Zoom によるオンライン会議  
 議 題：令和4年度事業報告(案)及び同収支報告(案)並びに役員選任について
- **令和5年度第1回事務長部会**  
 開催日：令和5年6月21日(水)14:30～16:30  
 (質疑応答含む)  
 場 所：医師会館 3F 中ホール(ハイブリッド方式)  
 テーマ：「介護 DX(デジタルトランスフォーメーション)～未来の介護とは～」(仮題)  
 講 師：宮本 隆史 先生  
 (社会福祉法人善光会 理事 最高執行責任者)
- **令和5年度第1回会員総会**  
 開催日：令和5年6月21日(水)16:30～  
 場 所：医師会館 3F 中ホール(ハイブリッド方式)  
 議 題：令和4年度事業報告(案)及び同収支報告(案)並びに役員選任について
- **令和5年度第2回理事会**  
 開催日：令和5年6月21日(水)総会終了後  
 場 所：医師会館 3F 中ホール  
 議 題：会長の選任について
- **令和5年度第1回給食部会**  
 開催日：令和5年7月12日(水)14:00～16:00  
 (質疑応答を含む)  
 場 所：医師会館 3F 中ホール(ハイブリッド方式)  
 テーマ：「対象に合わせた栄養ケア計画書の書き方を考える」(仮題)  
 講 師：森光 大 先生  
 (川崎医科大学総合医療センター営業部 管理栄養士)
- **令和5年度第2回事務長部会**  
 開催日：令和5年7月27日(木)14:00～(1時間程度)  
 開催方法：オンライン(Zoomのみ)  
 テーマ：COVID-19 診療におけるプライマリーケアの重要性～5類感染症移行に伴う診療体制の変化とパキロビッドの有用性について～  
 講 師：医師 医学博士 江田 誉 先生  
 (ファイザー株式会社 メディカルサイエンス・コミュニケーションチーム 骨・免疫学分野 部長)
- **令和5年度第1回在宅ケア・支援相談部会**  
 開催日：令和5年8月29日(火)14:00～16:00  
 テーマ：(未定)  
 講 師：堀之内 克行 先生  
 (社会福祉法人高齢者介護予防協会鹿児島 業務課長)

(※)本号編集時点の情報です。やむを得ず変更する場合があります。  
 詳細が確定次第あらためてファックスで会員施設へご案内します。

# ぶらぶらが素敵 かがししま

vol.12

東川隆太郎

NPPO法人まちづくり地域フォーラム・  
かがしま探検の会代表理事



隆起した台地



湾の海岸

南北600キロに及ぶ鹿児島県。気候や風土、文化に歴史にもそれぞれの地域に特徴があり、県内をめぐるだけでも相当な発見があります。そのような鹿児島県の意外な魅力を様々な角度から訪ねてみる連載です。

## 喜界島①

### 珊瑚礁が織りなす 魅力の歴史と文化

奄美諸島の北東に位置し、周囲約48キロ、面積約56平方キロという程よい広さの島が喜界島である。島の最高地点は標高約200メートルの百之台で、平たんなイメージだが、意外と起伏のある地形を有している。また喜界島はプレート活動によって海底より隆起した島であり、標高の高い場所でも珊瑚の化石などが確認される。しかも、現在も隆起活動は継続されている。

人間が生きているなかでその動きを実感できるスピードではないものの、確実に島は年々その高さを増しているのである。そのような島の歴史や文化も魅力的である。今回は島に点在する集落に見いだせる、私の一押しの名所・旧跡をご紹介します。

まずは、島の中心市街でもある湾集落から。湾はその名前の通り、琉球王国の支配下にあった時代からの港があった場所。海岸付近には航海安全を祈願する金比羅神社が建立されている。また、江戸時代の薩摩藩の代官所があった場所の近くには高千穂神社があり、島の拠（よ）りどころとなっている。その近くには、明治維新时期に西郷隆盛と一緒に活躍した村



阿伝集落の石垣



荒木集落



掩体壕跡



金比羅神社



荒木集落の石切り場



戦闘指揮所跡



村田新八修養之地碑

田新八が配流された際に滞在した場所があり、記念碑が建立されている。

湾集落に隣接する空港のある中里集落には、戦闘指揮所跡や掩体壕（えんたいごう）といった戦争遺産が点在している。現在の喜界空港の前身は、海軍の飛行場であった。鹿児島本土と沖縄の中間に位置する喜界島は、沖縄作戦に出撃する戦闘機などの中継地としての役割があり、昭和19年末から終戦にかけて、陸軍と海軍両方で数千人規模の兵員が島に滞在していた。戦時中は隠された施設であったが、現在は見学しやすい環境に整備されている。

島の南東に位置する荒木集落の海岸には、かつての石切り場の跡がある。荒木集落の家々にも美しい石垣が連続しているが、それらを支えていたのが海岸部で産出する石灰岩。これらが喜界島の景観を整えている。特に島の東に位置する阿伝集落の石垣は有名で、家の植生とともに島らしい風景を楽しむことができる。奄美諸島にあつてハブが生息していない島だからこそ、隙間ができる珊瑚の石垣が家々に残されている。

まだまだ、魅力がたくさんあるので続きは次回に。

（ひがしかわ・りゅうたろう）1972年、鹿児島市生まれ。鹿児島大学理学部地学科卒業。自他共に認める「まち歩き」のプロ。ガイドや講演会活動を通じて鹿児島の魅力を伝える活動を行っている。

こぼれおちた  
ものもの

36

三 角 みづ紀



常設展示室にいと、さまざま  
な音が聞こえる。遠くから響いて  
くる赤ちゃんの泣き声、ひかえめ  
な呼吸、配布された紙をしまう所  
作。温度を持った音たち。

かごしま近代文学館でのひさ  
しぶりの朗読会のために、鹿児  
島に滞在している。文字が溢れ  
ているところが好きなので、文  
学館という存在そのものが心地  
よい。とりわけ、ここは本への  
愛に満ちている。

集まったひとびとの前で、い  
ちばん新しい詩集を声に出して  
読む。緊張で喉が渇くが、この  
さしさまっているようなひとと  
きも好きだ。

生まれ育った土地で、こうやっ  
てひとまえに出る行為は、すこ  
し照れくさい。自分がとても偉  
くなった気がして。

実際はそんなことなくって、い  
まも庭の梅の木の下で物思いにふ  
けっっている子供のままだ。枇杷と  
檸檬とブルーベリーの木もあった。

温度に出会い続ける



わたしのグミの木もあった。豊か  
に育っていた。その家はまだ、常  
盤町にある。

朗読会の前日に、小学校へ向かう

通学路や、頻繁に訪れていたパン屋  
さんへ行つた。こみあげてくる感情  
があると考えていたけれど、ただ記  
憶をなぞっただけみたいな気持ちに  
なつた。

そうした自分は故郷に愛着がな  
いのかも心配になつた。でも、詩  
が音になつていく空間で、理解しは  
じめる。

赤いランドセルを背負つて小学校  
へ歩いた時間も、週末になつたら焼  
きたてのパンを食べる時間も、木々  
より落下する実を拾いあつめる時間  
も、過去ではない。

すべてが連なつて現在がある。ふ  
りかえるものではなく、この身体に  
ずつと存在しているのだろう。

明るい場所でも本をめくると、言葉  
たちが漂っている。お客さんの顔が  
よく見える距離で、わたしは時間  
を並べていく。

過ぎた日々と、いまの瞬間と、  
ちよつと先の時間の流れ。持参した  
腕時計は文字盤が緑色をしていて、  
ときおり確認する。

生きるつて、温度に出会い続ける  
ことだと思ふ。気温の話じゃなくて、  
体温だけの話でもない。土地にも、  
書物にも温度がある。声にだつて、  
温度はある。

朗読している声の温度は、その  
ときどきで変化する。今日のわた  
しの声はちよつと湿っていて、あ  
たたかきがある。雨上がりの町が、  
たたかきがある。雨上がりの町が、  
連なつた年月をふくんでいる。

生きてきた四十二年間がそのま  
ま、ひとつの肉体になつて、ここ  
にある。客席にいるひとびとも同

じく、刹那が蓄積された身体で耳  
を澄ましている。

「ひとつ」

ひとつがひとつになる  
重なり 積みあがつて  
ひとつが厚みを増して  
膨張する温度は見えず  
ありのまま生きていて  
感情の欠片がこぼれて  
循環してひとつになる

一冊を終えて、挨拶をして、お  
辞儀をする。どんなときも考えご  
とばかりして、曖昧な事象にも結  
論を出そうとする自分つて素直  
じゃないなあと感じつつ、本を閉  
じる。朗読会の最中に、あれこれ  
思案するなんて。

ここにいること。それがいかな  
るところだとしても、いること自  
体がつとも重要で、命をかたち  
づくる原点であると、詩を書きな  
がら、受けとめながら、知り続け  
ていくのだろう。拍手の音は、や  
さしい温度だつた。

三角みづ紀(みずみ・みづき) 1981年鹿児島  
市生まれ。東京造形大学視覚伝達学科在学中に現  
代詩手帖賞、第1詩集で中原中也賞を受賞。第2  
詩集で南日本文学賞、歴程新鋭賞受賞。著書多  
数。執筆のほか朗読活動も精力的に行い、国内外の  
詩祭に招致される。近年は美術作品として詩を制  
作する等、あらゆる表現を現代詩として発信して  
いる。第22回(平成26年度)萩原朔太郎賞受賞。



かつての市道部分は憩いの広場に



夜になるときらびやかな  
雰囲気漂う



11階建てのJ R鹿児島中央ビル



駅の改札口フロアと直結



東口から望むJ R鹿児島中央ビル

## 「J R鹿児島中央ビル」(鹿児島市武1丁目)

ふろあしと「フォーカス」

鹿児島市のJ R鹿児島中央駅西口に商業オフィス複合ビル「J R鹿児島中央ビル」と商業ゾーン「AMU WE(アミューズ)」が今年4月オープンした。先に東口の開発が進み大規模なオフィスビルや商業施設が誕生したが、西口にもおしゃやかな雰囲気の出現し、人の流れが変わって

ムや観覧車のアミューズが望める。新名所誕生までには紆余曲折もあった。J R鹿児島中央ビルは当初2018年度着工、20年開業の予定だった。しかし、隣接地での新県総合体育館整備の構想が浮上したため、計画を中断した経緯もあり、最終的な着工は21年度となった。

### 「駅裏」のイメージ掃

きた。J R鹿児島中央ビルは敷地面積6500平方メートル、地上11階建てで、駅の改札フロアと連結通路でつながっている。

1〜3階には、スーパーマーケットや100円ショップ、眼科や歯科などのクリニック、カフェなどが入り都市機能も充実。駅利用者をはじめ周辺住民、オフィス勤務の人にとって利便性の高い施設となっている。4〜10階のオフィスフロアは最大2千平方メートル。窓からは新幹線ホー

既存の西口側立体駐車場横を通っていた市道部分は広場に生まれ変わった。多くの樹木や草花が植えられ、ベンチで買物客らがひとやすみ。ゆったり時間を過ごせる癒やしのスペースとなっている。

今後J R鹿児島中央ビルの隣接地には、14階建てのマンション建設も計画されている。ともすれば「駅裏」のイメージがあつた西口の発展はとどまるところを知らないようだ。

(編集委員・米森)

# ろうけん広場

## 新しいカタチの本屋

近ごろ、従来の古本屋とは違う新しいカタチの「本屋」を見かけるようになった。若い世代が新しい感覚で運営しているのが特徴だ。そんな本屋さんをばらり訪ねてみた。

(編集委員・米森)

### book&cafe そらまど

(南さつま市大浦町)

鹿児島出身で元文科省職員、窪壮一郎さん(40)は2008年退職後、大浦町に移住。「本屋がない町に本が読める場所を」と古民家を改装したブックカフェを造った。「こんなところに」と思うひなびたところだ。金・土曜日だけ営業。約三千冊が並ぶ。町外からの来訪者はもとより、地域のお年寄りらの交流の場にもなっている。コーヒー、そして柑橘農家でもある窪さんが製造するジャムをつけて味わう手作りのスコーンがおいしい。ゆったりとした時間に流れ癒やされる。



古民家を改装した book&cafe そらまど



コーヒーや手作りスコーン、ジャムを提供

### books selva

(鹿児島市名山町)

鹿児島市役所の近く、昭和のレトロな雰囲気が若者にも人気の名山堀の一角にある。2022年12月にオープンした。店主は元新聞記者の杉谷(そまたに)健太さん(38)。わずか5坪の空間に約千冊の本が置かれ、まるで隠れ基地にしているよう。小説や評論、人文科学、絵本まで多彩なジャンルの本は8割が新刊。南米からチベット、東アジアなど一般の書店では見かけない本も多く、つい見入ってしまう。活字離れと言われるが「どんな時代でも本を求める人はいる」。思っていたより若い世代もやってくるという。



本に囲まれ隠れ基地のよう



books selvaのしやれた看板

### 古本屋ブックスパーチ

(鹿児島市泉町)

街中の古いビルを再生、物づくりスペースなどが入居するビルの1階入り口にある。店主は若いころから古書店回りをしていたという本好きの諏訪田寛人さん(32)。ざっと二千冊。3割は新刊だ。同じフロアにあるカフェを飲食で利用すると、そこで「立ち読み」できる。「本との出会いは一期一会。誰かが選んだ本を次の誰かが選ぶ」。古書店の面白みを楽しそうに語ってくれた。



本好きの店主が運営する「古本屋ブックスパーチ」



千葉しのぶさん

夏編

## かごしまの食卓

ちばしのぶ NPO法人霧島食育研究会理事長、管理栄養士・フードコーディネーター。「霧島・食の文化祭」「かごしま郷土料理マイスター講座」などを主宰する。2020年千葉しのぶ鹿児島食文化スタジオを設立。著書に「はじめての郷土料理」(燦燦舎)など。



## トウモロコシのかき揚げ

子どもの頃、トウモロコシの皮をむくときは、中が見えないだけに少しドキドキしたものです。ひげと皮をしっかり持ち、上から下に力を入れて一気にぎゅっとむくと実が現れてきます。実が整列して隙間なく並んでいるのを見てうれしくなりました。

ゆでたてを両手に持ち、豪快にかぶりつくのが定番ですが、かき揚げにすると甘さが一層際立ちます。プチプチとした歯ごたえも魅力です。

## レシピ

3、4人分

- 生トウモロコシ 1本
- 小麦粉 大さじ3
- 水 大さじ2
- 塩 小さじ1/4
- 油 適宜

- ①生トウモロコシは包丁で実を削り取る。
- ②ボウルに①と小麦粉、水、塩を加え混ぜる。
- ③170度に油をあたため、②をスプーンですくい油の中にそっと落とし、カラリとなるまで揚げる。



油に入れた直後は、形が崩れやすいので、しばらくは、はして触らないようにしましょう。

## つあんつあん

落花生は鹿児島では「だっきしょ」とも呼ばれ親しまれています。垂水の新城という地域で明治の初めに栽培が始まったそうです。「つあんつあん」は落花生の入った炊き込みご飯で、鹿屋地域の郷土料理です。

料理名の由来は、落花生の五目煮をご飯に混ぜ、おにぎりし、昼ごはんにしたことからだと聞きました。「昼飯(ちゅうはん)」が変化して「つあんつあん」と呼ばれるようになったそうです。



炊飯の際、米と具材が混ざると、米がしっかり加熱されず芯が残ることがあります。米の上に具材を置き、炊飯しはじめましょう。

## レシピ

6～7杯分

- 乾落花生 60g<sup>ア</sup>
- 米 2合(300g<sup>ア</sup>)、もち米 1合(150g<sup>ア</sup>)
- かつおだし(かつおぶし5g<sup>ア</sup>、水500cc)
- 調味料A(本みりん、うす口しょうゆ各大さじ2)
- 豚もも肉 100g<sup>ア</sup>
- ニンジン、ゆでたけのこ、ゴボウ各50g<sup>ア</sup>
- 干しシイタケ 4枚
- 油 大さじ1
- 調味料B(本みりん・うす口しょうゆ各大さじ1)
- さやいんげん 3、4本 塩 適宜

- ①干しシイタケは1カップ(200cc)の水につけて戻し、軸をとる。戻し汁はとっておく。
- ②乾落花生は1日水に浸して、ややかために下ゆでする。
- ③かつおだしをとり(分量の水を沸騰させ、かつお節を加え、再度沸騰したら火を止め、2分したらこす)、冷ましておく。冷めたら干しシイタケの戻し汁とあわせ500ccにしておく。
- ④米ともち米は合わせて洗い、炊飯器に入れ③にひたす。
- ⑤豚もも肉、ニンジン、ゆでたけのこ、シイタケは1斜角に切り、ゴボウはささがきにする。
- ⑥鍋に油をひき、⑤を炒め、豚もも肉の色がかわったら、調味料Bを加え、火からおろす。
- ⑦④に調味料Aを加え混ぜ、すぐに⑥と落花生を米の上に置き、スイッチを入れ炊き始める(米と具材は混ぜないこと)
- ⑧炊きあがったら、全体を混ぜ蒸らして、器に盛り、塩ゆでしたいんげんを斜め薄切りにし、散らす。

介護用品 あれこれ

## 推奨福祉用具のご紹介

### ～排泄ケアシステム「Helppad2」のご紹介～

(株)カクイックスウィング 作業療法士、福祉用具プランナー管理指導者 **湯脇 稔**

#### はじめに

2022.4月号で排泄ケアシステム「Helppad」を紹介させていただきましたが、今回はその改良版で、今年秋に発売予定の株式会社 aba 様の「Helppad2」を紹介させていただきます。Helppad では「におい」を吸い込んで検知するシステムであったため、まれに排泄物を機器内に吸い込んでしまうトラブルが報告されていましたが、改良版である Helppad2 ではその問題を解決するために「においセンサー」3個を配置したシート型のセンサーで検知するシステムとなっています。

#### Helppad2 の機能紹介

①「においセンサー」で便と尿を検知。

排泄物を「におい」でセンシング。ご利用者の排泄状況をよりの確に把握することで、経験や勘に頼っていた排泄ケアに革新をもたらします。

②シーツの上に敷くだけ！非装着で使用可能。

ベッドメイキングのように簡単にセットできるシンプルな設計。おむつや衣類を着用したまま使用でき、ご利用者やスタッフの負担が軽減できます。

③介護現場に IoT を！データを収集・解析

センサーが感知したデータから排泄を検知する人工知能システムを搭載。排泄の記録作業をシステム化し、手間のかかる排泄パターン表を自動で生成します。

排泄センサー ヘルパッド  
**Helppad 2**

power up!

- 尿・便 識別可能に！
- メンテナンス が楽に！
- スマホアプリ リリース予定

2023年秋発売 予約受付中！

※発売前のため、仕様および外観（形状や色）は変更する可能性があります





## Helppad2 でできること

課題①: 排泄タイミングが分からない⇒**排泄があるとお知らせ**

排泄タイミングをパソコンやスマートフォンへタイムリーに通知し、尿・便漏れや皮膚トラブルを防ぐ。

課題②: 排泄タイミングに合わせた定期交換になっていない⇒**排泄記録のパターン表作成**

排泄記録のパターン表を自動作成し、排泄データや職員間の意見を活用することで職場環境の改善へ。

課題③: イレギュラーな費用が漫然と発生している⇒**尿・便漏れ、空振り率の低減**

定期おむつ交換時の「空振り」による、無駄なおむつ・パット代や、スタッフの労力・備品購入費用等の削減。

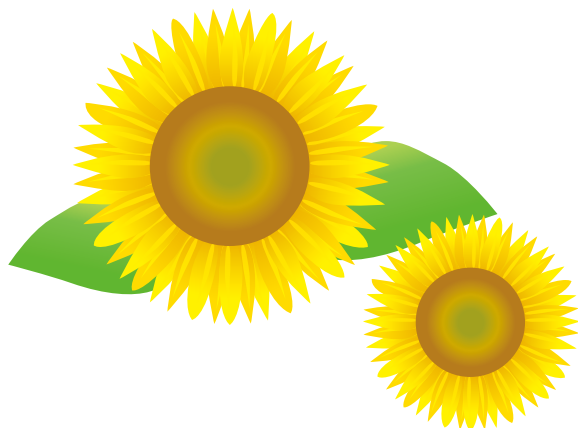
## 終わりに

排泄ケアはご利用者のプライド、羞恥心に関わるケアであるばかりでなく、介護者にとっても身体的・精神的に負担が大きく、双方の生活の質に大きく関わるケアだと思います。今回紹介させていただきました排泄ケアシステム「Helppad2」を活用していただき、ご利用者・介護者共により良い生活を送っていただきたいと思います。

文章・写真引用

・ Helppad2 販促チラシ

・ 株式会社 aba ホームページ <https://helppad.jp>



# あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所



**⑦ろうけん始良**  
 〒899-5652 始良市平松5062  
 ☎0995-65-8091 FAX 0995-67-1474  
 希望ヶ丘病院  
 居宅介護支援事業所ろうけん始良  
 訪問介護事業所ろうけん始良



**⑧青雲荘**  
 〒899-5431 始良市西餅田3024番地1  
 ☎0995-65-8181 FAX 0995-64-5255  
 青雲会病院  
 居宅介護支援事業所青雲

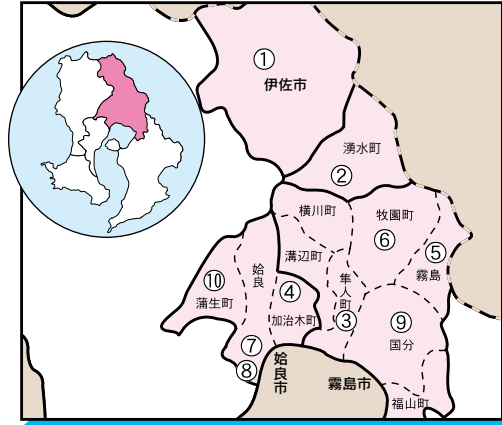


**⑨アメニティ国分**  
 〒899-4301 霧島市国分重久361-1  
 ☎0995-64-0666 FAX 0995-45-4515  
 鵜木医院(指定介護療養型医療施設)  
 うのきテイサービス(認知症専用)  
 ヘルパーステーションアメニティ国分



**⑩ろうけん大楠**  
 〒899-5304 始良市蒲生町下久徳1249-1  
 ☎0995-54-3333 FAX 0995-54-3338  
 ろうけん大楠グループホーム「たんぼほ」  
 ろうけん大楠居宅介護支援事業所  
 大楠苑(特別養護老人ホーム)

## 伊佐・始良地区



**①はやひと**  
 〒895-2504 伊佐市大口青木3022-33  
 ☎0995-22-8000 FAX 0995-22-4868  
 大口温泉リハビリテーション病院  
 ことぶき園(特別養護老人ホーム)  
 グリーンハイツ周山(ケアハウス)



**②寿芳苑**  
 〒899-6202 始良郡湧水町北方1857  
 ☎0995-74-3300 FAX 0995-74-2504  
 あいらの森ホスピタル  
 グリーン光芳(特別養護老人ホーム)  
 グループホーム愛の里



**③希望の里**  
 〒899-5111 霧島市隼人町姫城2-157  
 ☎0995-43-1600 FAX 0995-43-2359  
 隼人温泉病院(療養型病床あり)  
 訪問看護ステーション姫城  
 グループホーム「ゆうゆう」



**④シルバータウン加治木**  
 〒899-5241 始良市加治木町木田4719-1  
 ☎0995-62-5755 FAX 0995-62-5756  
 加治木温泉病院  
 加治木望岳園(特別養護老人ホーム)  
 龍門の里(軽費老人ホームA型)

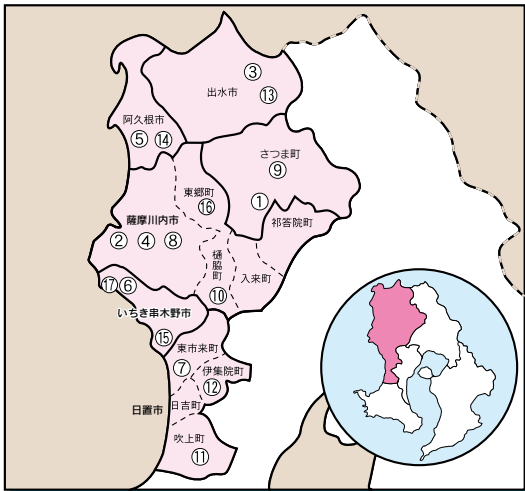


**⑤きりしま**  
 〒899-4201 霧島市霧島田口2115-1  
 ☎0995-57-3410 FAX 0995-57-3415  
 霧島杉安病院  
 訪問看護ステーションあんしん  
 グループホームゆめ



**⑥サンライトホーム**  
 〒899-6603 霧島市牧園町高千穂3617  
 ☎0995-78-3811 FAX 0995-78-3387  
 霧島桜ヶ丘病院  
 霧島青葉園(身体障害者療護施設)  
 霧島青寿園(介護老人福祉施設)

## 日置・川薩・北薩地区



**①クオリエ**  
 〒895-1804 薩摩郡さつま町船木2311-8  
 ☎0996-52-1100 FAX 0996-52-1134  
 クオリアリハビリテーション病院  
 訪問看護・リハクオラU  
 グループホームアリエ



**②あじさい苑**  
 〒895-0023 薩摩川内市横馬場町8-11  
 ☎0996-23-6000 FAX 0996-23-6373  
 薩摩川内市在宅介護支援センターあじさい  
 きららクリニック  
 グループホームそら



**⑫アンダンテ伊集院**  
 〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺3-1303-10  
 ☎099-272-5181 FAX 099-272-5999  
 湯田内科病院  
 ケアセンターリエゾン日置  
 (居宅介護支援事業・訪問介護事業)



**⑬ラ・フォンテいずみ**  
 〒899-0214 出水市五万石町281  
 ☎0996-62-7005 FAX 0996-62-7008  
 しもそのクリニック  
 ラ・フォンテいずみ居宅介護支援事業所



**⑭グリーンフォレストみかさ**  
 〒899-1131 阿久根市脇本字柞木迫6313-1  
 ☎0996-75-3222 FAX 0996-75-3238  
 黒木胃腸科外科医院  
 グリーンフォレストみかさ訪問看護ステーション  
 阿久根市在宅介護支援センターみかさ



**⑮ライフハーバーいちき**  
 〒899-2103 いちき串木野市大里2901-2  
 ☎0996-36-5353 FAX 0996-36-5352  
 丸田病院  
 吹上園・市来松寿園  
 市来町在宅介護支援センター



**⑯グレースホーム**  
 〒895-1106 薩摩川内市東郷町斧洲8920番地  
 ☎0996-21-6311 FAX 0996-21-6313  
 上村病院  
 グレースホーム訪問看護ステーション  
 グレースホーム居宅介護支援事業所



**⑰ゆくさ白浜**  
 〒896-0064 いちき串木野市羽島265-15  
 ☎0996-35-0800 FAX 0996-31-0070  
 えんでん内科クリニック  
 (居宅介護支援事業・訪問介護事業)  
 グループホームもぜ

**鹿児島地区**



**①城山老健**  
 〒890-0014 鹿児島市草牟田1-4-10  
 ☎099-225-3582 FAX 099-224-4096  
 植村病院  
 ケアハウス出かい坂  
 居宅介護支援・訪問介護センター草牟田出かい坂



**②スイートケアなかよし**  
 〒890-0005 鹿児島市下伊敷1-1-5  
 ☎099-223-3390 FAX 099-222-6541  
 玉水会病院  
 いしき訪問看護ステーション

**③城西ナーシングホーム**  
 〒890-0046 鹿児島市西田1-16-1  
 ☎099-258-9180 FAX 099-257-5712  
 土橋病院  
 居宅支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)  
 デイサービスセンター ケアガーデン西田



**③ニューライフいずみ**  
 〒899-0217 出水市平和町336-1  
 ☎0996-63-8000 FAX 0996-63-3161  
 吉井中央病院  
 ユニット型老健グランアージュ  
 鶴寿園(特別養護老人ホーム)



**④長生園ナーシングセンター**  
 〒895-0076 薩摩川内市大小路町51-3  
 ☎0996-22-1121 FAX 0996-22-1120  
 永井病院  
 在宅介護支援センター 長生園  
 グループホーム 自立の家



**⑤回生苑**  
 〒899-1611 阿久根市赤瀬川551  
 ☎0996-72-1661 FAX 0996-73-3788  
 内山病院  
 阿久根市在宅介護支援センター  
 桜ヶ丘荘(特別養護老人ホーム)



**⑥さるびあ苑**  
 〒896-0002 いちき串木野市春日町63  
 ☎0996-32-8841 FAX 0996-32-8873  
 宮之原循環器内科  
 串木野市在宅介護支援センター  
 慈正会居宅介護支援事業所



**⑦シルバーセンター光の里**  
 〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1丁目1-6  
 ☎099-273-5600 FAX 099-273-5700  
 前原総合医療病院  
 グループホーム あったかハウス  
 訪問看護ゆの里・訪問介護ふる里



**⑧グリーンライフ川内**  
 〒895-0065 薩摩川内市宮内町磯田2633  
 ☎0996-20-2500 FAX 0996-20-2570  
 今村クリニック(整形外科)  
 薩摩川内市在宅介護支援センター  
 薩摩川内市ホームヘルパー事業(老人と障害者)



**⑨パラディーノほたるの里**  
 〒895-2104 薩摩郡さつま町柏原493-5  
 ☎0996-53-1010 FAX 0996-53-1007  
 立志病院  
 鶴田町在宅介護支援センター  
 居宅介護支援事業所 パラディーノほたるの里

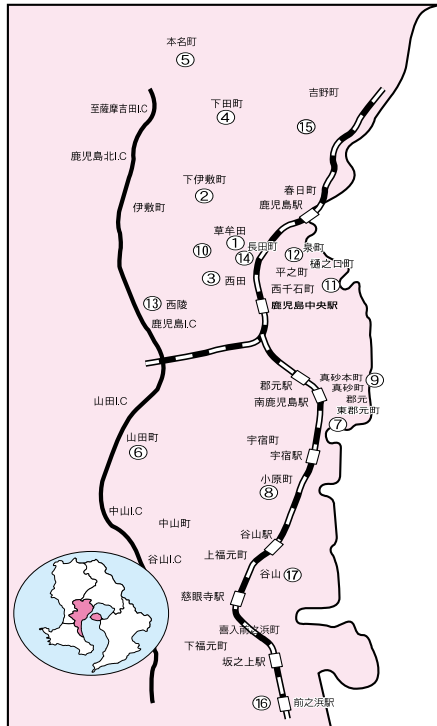


**⑩グラン・ベリテわき**  
 〒895-0011 薩摩川内市天辰町1512番地1  
 ☎0996-29-5900 FAX 0996-29-5910  
 市比野記念病院  
 翠泉苑(特別養護老人ホーム)  
 指月苑(養護老人ホーム)



**⑪湯の浦ナーシングホーム**  
 〒899-3303 日置市吹上町湯之浦1353  
 ☎099-296-5411 FAX 099-296-5422  
 外科 馬場病院  
 居宅介護支援事業所  
 (湯の浦ナーシングホーム・馬場病院)

# あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所



**④さくらんぼ**  
〒892-0873 鹿児島市下田町1759  
☎099-244-8811 FAX 099-244-8700

鹿児島市在宅介護支援センターさくらんぼ  
ヘルパーステーションさくらんぼ  
居宅介護支援事業所さくらんぼ



**⑤吉田ナーシングホーム**  
〒891-1304 鹿児島市本名町472  
☎099-294-4561 FAX 099-294-4562

吉田温泉病院居宅介護支援事業所  
ヘルパーステーション ゆうばえ  
訪問介護ステーション 夕映え



**⑥フレンドホーム**  
〒891-0104 鹿児島市山田町450  
☎099-260-6000 FAX 099-268-1540

Tsukasa Health Care Hospital



**⑦鴨池慈風苑**  
〒890-0068 鹿児島市東郡元町11-6  
☎099-252-8291 FAX 099-252-5526

厚地脳神経外科病院  
厚地リハビリテーション病院  
在宅介護支援センター鴨池慈風苑



**⑧愛と結の街**  
〒891-0111 鹿児島市小原町8-3  
☎099-260-6060 FAX 099-284-5689

居宅介護支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)  
谷山病院  
いづろ今村病院・今村総合病院



**⑨ひまわり**  
〒890-0067 鹿児島市真砂本町3-81  
☎099-285-2211 FAX 099-258-7971

大勝病院  
訪問看護ステーション真砂本町  
鹿児島市在宅介護支援センター真砂本町(居宅)



**⑩まるにえ**  
〒890-0014 鹿児島市草牟田2-26-45  
☎099-226-3270 FAX 099-226-3271

米盛病院  
マロニエ訪問看護ステーション「護国」  
整形外科米盛病院居宅介護支援事業所



**⑪西千石**  
〒892-0847 鹿児島市西千石町8-13  
☎099-223-3300 FAX 099-223-3560

日高病院  
介護相談センター西千石  
ヘルパーステーション西千石



**⑫あさひ**  
〒892-0822 鹿児島市泉町8-2  
☎099-225-8660 FAX 099-225-8601

中央病院  
桜島病院  
桜島苑(特別養護老人ホーム)



**⑬ナーシングホーム田上苑**  
〒890-0032 鹿児島市西陵6-21-18  
☎099-283-0120 FAX 099-283-0517

田上記念病院  
居宅介護支援事業所はるかぜ  
クレセール天保山(介護付有料老人ホーム)



**⑭ナーシングホーム城山の森**  
〒892-0854 鹿児島市長田町223  
☎099-219-1122 FAX 099-219-1123

中村(哲)産婦人科・内科  
博悠会温泉病院  
特別養護老人ホーム城山苑



**⑮ろうけん青空**  
〒892-0871 鹿児島市吉野町6040番地7  
☎099-243-4330 FAX 099-243-5599

明輝会クリニック  
グループホーム帯迫&ひばり  
小規模多機能ホームひばり



**⑯サンシャインきいれ**  
〒891-0205 鹿児島市喜入前之浜町7808-1  
☎0993-43-1176 FAX 0993-43-1186

特別養護老人ホーム喜入の里  
新田クリニック  
小規模多機能 前之浜



**⑰光徳苑**  
〒891-0141 鹿児島市谷山中央2-4515  
☎099-260-9777 FAX 099-260-5093



**⑦おさしお**  
 〒893-1103 鹿屋市吾平町麓3766-1  
 ☎0994-58-5858 FAX 0994-58-5501  
 グループホームきらら  
 長崎内科  
 陵幸園(特別養護老人ホーム)



**⑧ハーモニーガーデン**  
 〒893-0014 鹿屋市寿4-1-43  
 ☎0994-41-7800 FAX 0994-41-7802  
 平和台病院  
 介護保険相談センターハーモニーガーデン



**⑨コスモス苑**  
 〒891-2124 垂水市錦江町1-140  
 ☎0994-32-5200 FAX 0994-32-5280  
 垂水市立医療センター、垂水中央病院  
 垂水市立在宅介護支援センターコスモス苑  
 居宅介護支援事業所コスモス苑



**⑩みなみかぜ**  
 〒893-2301 肝属郡錦江町神川88-1  
 ☎0994-22-3100 FAX 0994-22-3105  
 肝属郡医師会立病院  
 居宅介護支援事業所みなみかぜ



**⑪サンセリテのがた**  
 〒899-8313 曾於郡大崎町野方6047-3  
 ☎0994-71-0088 FAX 0994-78-3201  
 はるびゅうクリニック  
 訪問看護ステーションふるる  
 居宅介護支援事業所サンセリテのがた



**⑫ありあけ苑**  
 〒899-7402 志布志市有明町野井倉8288-1  
 ☎099-477-2331 FAX 099-477-2335  
 曾於医師会立訪問看護ステーション  
 曾於医師会立居宅介護支援事業所



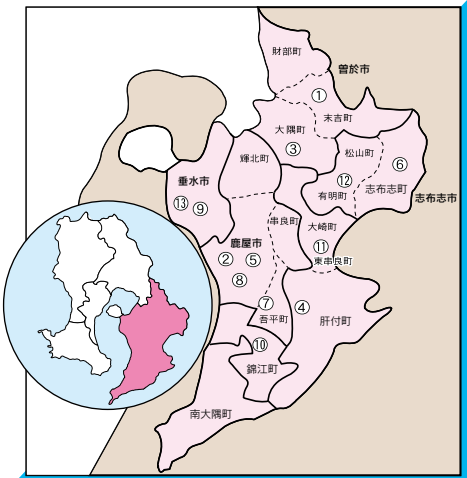
**⑬絆**  
 〒891-2104 垂水市田神3536番地1  
 ☎0994-32-6161 FAX 0994-32-6163  
 池田温泉クリニック  
 グループホームひまわり苑  
 小規模多機能ホームひまわりの里

## 南 薩 地 区



**①指宿温泉菜の花苑**  
 〒891-0402 指宿市十町418-1  
 ☎0993-24-3255 FAX 0993-22-3239  
 今林整形外科病院  
 明正会介護支援ネットワーク菜の花  
 (居宅介護支援事業所)

## 曾 於 ・ 肝 属 地 区



**①高原ナーシングホーム**  
 〒899-8602 曾於市末吉町栄町2-11-1  
 ☎0986-76-1170 FAX 0986-76-6530  
 高原病院  
 末吉町在宅介護支援センター  
 末吉訪問看護ステーション



**②ナーシングホームひだまり**  
 〒893-0024 鹿屋市下祓川町1853  
 ☎0994-41-1200 FAX 0994-41-1727  
 鹿屋訪問看護ステーション  
 居宅介護支援事業所ひだまり



**③ケアセンターやごろう苑**  
 〒899-8102 曾於市大隅町岩川5515  
 ☎0994-82-5963 FAX 0994-82-5964  
 昭南病院  
 大隅地域訪問看護ステーション



**④老春苑**  
 〒893-1207 肝属郡肝付町新富525  
 ☎0994-65-1500 FAX 0994-65-1160  
 春陽会中央病院  
 高山町在宅介護支援センター  
 訪問看護ステーションたんぼぼ

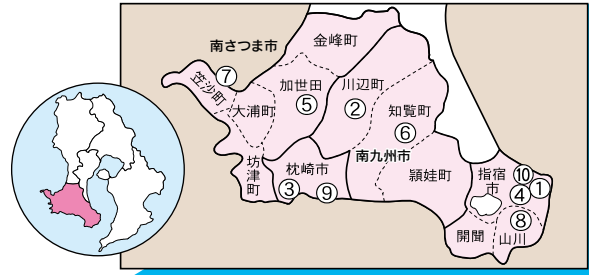


**⑤ヴィラかのや**  
 〒893-0014 鹿屋市寿8-21-2  
 ☎0994-44-0021 FAX 0994-44-1226  
 恒心会おぐら病院  
 居宅介護支援事業所ヴィラかのや  
 訪問看護ステーションことぶき



**⑥つわぶき**  
 〒899-7103 志布志市志布志町志布志1-13-3  
 ☎099-472-5666 FAX 099-473-3494  
 病院芳春苑(精神科)  
 ケアハウスぬくもり  
 グループホーム南の家族

熊毛・大島地区



**①わらび苑**  
〒891-3101 西之表市西之表2981-1  
☎0997-22-2600 FAX 0997-22-2601  
社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター  
わらび苑居宅介護支援事業所



**②沖永良部寿恵苑**  
〒891-9112 大島郡和泊町和泊95-1  
☎0997-92-3691 FAX 0997-92-3650  
福山医院



**③虹の丘**  
〒894-0046 奄美市名瀬小宿字苗代田3416-1  
☎0997-54-8888 FAX 0997-54-8800  
虹の丘訪問介護事業所  
虹の丘居宅介護支援事業所  
在宅介護支援センター虹の丘



**④風花苑**  
〒891-9306 大島郡与論町麦屋字風花1305-5  
☎0997-97-5011 FAX 0997-97-5012  
龍美クリニック



**⑤せとうち**  
〒894-0036 大島郡瀬戸内町大字阿木名1975  
☎0997-73-1155 FAX 0997-72-4913  
奄美中央病院  
南大島診療所



**⑥アマンデー**  
〒894-0504 奄美市笠利町節田字大湊1451-1  
☎0997-63-1555 FAX 0997-63-0099  
朝沼クリニック(診療所)  
居宅介護支援事業所たちがみ  
在宅介護支援センターたちがみ



**⑦サザンコート**  
〒891-7101 大島郡徳之島町亀津7268  
☎0997-83-0061 FAX 0997-83-0093  
医療法人南溟会 宮上病院  
社会福祉法人奄美同仁会 特別養護老人ホーム 南風園



**⑧秋名の郷**  
〒894-0332 大島郡龍郷町幾里字浜崎179  
☎0997-62-4111 FAX 0997-62-4110  
秋名の郷通所リハビリテーション  
秋名の郷訪問介護事業所



**⑨愛心園**  
〒894-0032 大島郡天城町瀬滝398番地  
☎0997-85-5501 FAX 0997-85-5502



**②かわなべ寿光苑**  
〒897-0221 南九州市川辺町田部田4848-4  
☎0993-56-4311 FAX 0993-56-4331  
菊野病院  
寿光苑在宅介護支援センター



**③エスポワール立神**  
〒898-0048 枕崎市火之神町630  
☎0993-73-2266 FAX 0993-73-2265  
小原病院  
立神リハビリテーション温泉病院  
ピースフル立神(介護老人福祉施設)



**④指宿やすらぎ園**  
〒891-0304 指宿市東方7531  
☎0993-24-5593 FAX 0993-24-5912  
指宿竹元病院  
指宿みどり館(認知症高齢者グループホーム)  
老人性認知症センター



**⑤ラポール吉井**  
〒897-0001 南さつま市加世田村原1丁目10-10  
☎0993-53-8888 FAX 0993-53-8788  
アルテンハイムリハビリテーションクリニック本町  
加世田アルテンハイム  
グループホーム なでしこ



**⑥シルバーライフちらん**  
〒891-0911 南九州市知覧町塩屋16016  
☎0993-85-4095 FAX 0993-85-4096  
ちらんクリニック



**⑦さつま野菊園**  
〒897-1302 南さつま市笠沙町赤生木11372-397  
☎0993-63-1000 FAX 0993-63-1950  
大迫医院  
フレンドリーハウス のぎく(グループホーム)  
特別養護老人ホーム 石垣の里



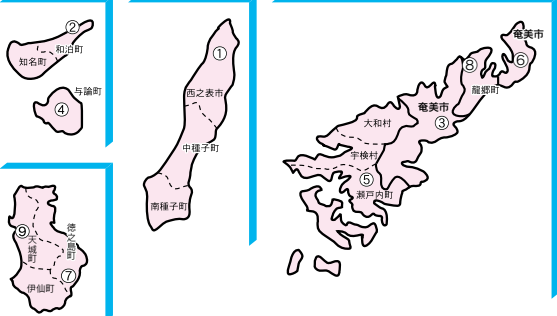
**⑧ヴァンベールみどりの風**  
〒891-0514 指宿市山川大山2056-4  
☎0993-35-3355 FAX 0993-35-3522  
指宿浩然会病院  
指宿訪問看護ステーション  
居宅介護支援事業所



**⑨サザンケアセンター**  
〒898-0011 枕崎市緑町236  
☎0993-72-8855 FAX 0993-72-9233  
サザン・リージョン病院  
サザン訪問看護ステーション  
南方園(介護老人福祉施設)



**⑩指宿温泉ケアサポート**  
〒891-0311 指宿市西方1050番地  
☎0993-25-3653 FAX 0993-25-5393  
医療法人聖仁会



## 日々、庭先で…。

祝迫正豊

梅雨時となるとアジサイが路地や散歩道で目を楽しませてくれる。毎年、我が家の庭にガクアジサイなど5種類が咲く。挿し木したり隣の家から一株いただいたり、いつの間にか種類が増えた。

南九州市頼娃の古民家（実家）を改築して8年ほどになる。週末、ガーデニングや菜園を楽しむ。

5月初旬、古民家の庭につる薔薇（ばら）が咲いた。そして5、6月、アジサイの花が青々とした葉っぱの間から紫色や淡い色の顔を出す。

周辺を散歩、足元にはシソ科のキランソウ、ホトケノザも小さなピンクの花、薄紫の花を咲かせている。生き生きとした野草のエネルギーをもらう。

夏の庭先はローズマリー、ラベンダーなどハーブ類の小さな花数が増えるので嬉（うれ）しい。これから庭の植物、樹々がもっと勢いづく。いただいた八重のハイビスカスは11月下旬まで次々と咲いてくれるからありがたい。

日よけになればと友人の手伝いをもらい、木製の葡萄棚（ぶどうだな、パーゴラ）を造った。棚はブーゲンビリアやキウイの木、それにつる薔薇が密集、なんとか共生している。

いつ植栽したのだろうか。季節に応じて植物が芽吹き、勝手にあちこちに花を咲かせている。

留学時、パリからバスで約3時間、印象派の画家、クロード・モネのアトリエ、田舎のジュベルニーを訪れた。睡蓮の咲く池、広い花壇が印象的だ。何百種の花に埋もれ、これまで見たことのない素晴らしい庭、壮大な空間だった。借景を生かしたナチュラルガーデンは憧れの場所だ。

わが古民家は憧れの庭には程遠いが身近に草花や樹々に接していると気分が良い。また季節の変わり目を知らせてくれる。ゆっくと成長していく植物の波長や空気が好きだ。頼娃の庭を「EI（えい）のイングリッシュガーデン」と呼び、楽しみたい。

7月号表紙、絵は庭先のゼラニウムと名も知らない雑草を愛でた。窓ガラス越し寄ってきたトンボを画面に構成した。一日が終わろうとする黄昏の色、色調で描いてみた。



表紙絵「黄昏の刻」S10号  
2020年作



●作家略歴：祝迫 正豊（いわいざこ まさとよ）

- 1952年 南九州市生まれ 1986年 第70回二科展「特選」、鹿児島市「新人賞」
- 1988年 第43回南日本美術展「パリ賞」翌年フランス留学、パリ市で個展、第35回県美展 県美展賞（最高賞）
- 1992年 第77回二科展「二科賞」（最高賞）、他に会友賞、会員賞
- 1993年 文化庁現代美術展選抜展（全国巡回）
- 2000年 鹿児島県芸術文化奨励賞
- 2013年 日本・スペイン交流400周年記念展招待（マドリッド市）
- 現在、二科会会員、南日本美術展委嘱作家、志学館中等高等部非常勤講師、鹿児島純心女子短期大学非常勤講師

## 編集後記

◇5月の大型連休中のJR鹿児島中央駅は、コロナ禍で会えなかった家族らが再会を喜びあう笑顔があふれていました。私の大好きな天文館にもにぎわいが戻りつつあります。3年以上にわたる重い空気が少しずつ晴れていく気がしています。ただ、新型コロナウイルスの脅威は消えたわけではありません。気を緩めないことが肝要なようです。

◇今月の「ふるさと広場」欄では、日ごろ気になっていた本屋さんを取り上げてみました。並べてある本はもとより、運営する若い世代の店主らはいずれも個性にあふれて魅力的。楽しい交流ができ、貴重な一冊の本に出会ったような気分になりました。

◇人工知能（AI）の話題が多く取り上げられています。人間に代わりいろいろなことができるようになりますといわれています。福祉・介護の現場でも活用されるでしょうが、忘れてならないのはAI（愛）は人間の手に委ねられているということです。（米）

編集委員

- 米森 俊一（県老人保健施設協会理事）
- 加治屋 洋（さるびあ苑）
- 谷山 尚（さくらんぼ）

## ろっけん鹿児島

（令和5年夏号）

令和5年7月1日発行

通巻112号 無料

編集人 米森 俊一

発行人 今村 英仁

印刷所 濱島印刷株式会社 鹿児島市上之園町17-2

発行所 公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会

T 8000-0050

鹿児島市中央町8番地1 県医師会館3F

電話099(0)047 FAX099(0)047

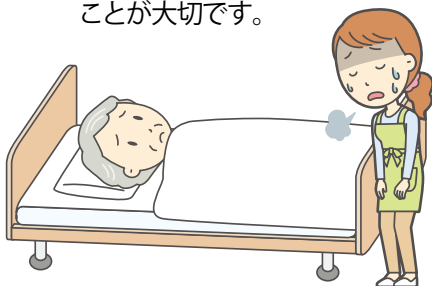
E-mail:k-roken@pc.minc.ne.jp

Website:https://kagoshima-roken.or.jp/

# 高齢者虐待の防止・早期発見のために 地域で支え合いましょう。

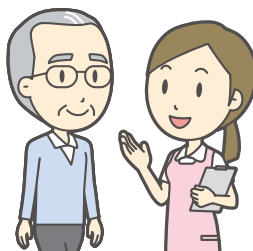
## 理解

虐待が起きる要因は様々です。介護する側・される側双方の不安や悩みを理解することが大切です。



## 見守り

ご近所に気になる高齢者や介護をしている家族がいたら、ちょっとした声かけをお願いします。



## 相談

困りごとを抱えている高齢者や家族がいたら、地域包括支援センター等への相談を勧めましょう。



## 地域や介護事業所の方

『虐待かもしれない…?』と思ったら!

お住まいの

市役所・  
町村役場

または

地域包括  
支援センター

に

迷わずご相談ください。

※市町村や地域包括支援センターの職員には、守秘義務が課されています。

※相談窓口となるお住まいの市町村及び地域包括支援センターについては、県ホームページにも掲載しています。

高齢者虐待防止 鹿児島

検索

## 認知症に関する相談

[公益社団法人認知症の人と家族の会鹿児島県支部]

(相談日/月~金 10:00~16:00)※祝日、年末年始は除きます。

TEL.099-257-3887

TEL.099-251-4010(若年性認知症相談窓口)